

۷۲۶۰

日本全道府県で減少

調查開始後初
計80万人、少子化反映

総務省が二十六日付で公表した住民基本台帳に基づく人口動態調査によると、今年一月一日時点の外国人を含む総人口は一億一千五百四十一万六千八百七十七人で、前年と比べ約五十一万一千人減った。日本人に限ると約八十万一千人減。減少率は一九六八年の調査開始以降の最大を更新し、初めて四十七都道府県全でマイナスになつた。深刻な少子化を反映しており、地域社会の維持に向けて若者や女性の雇用確保など対策が急務だ。外国人は増加した。(●面参照)

總人口1億2541萬人

都道府県	人口	増減率	日本人増減率	
北海道	5,139,913	▲0.84	▲1.02	
森	1,225,497	▲1.41	▲1.50	
手	1,189,670	▲1.39	▲1.50	
城	2,257,472	▲0.48	▲0.63	
田	941,021	▲1.65	▲1.71	
形	1,042,396	▲1.35	▲1.42	
島	1,818,581	▲1.23	▲1.33	
木	2,879,808	▲0.37	▲0.72	
馬	1,929,434	▲0.67	▲0.85	
玉	1,930,976	▲0.65	▲0.92	
葉	7,381,035	▲0.07	▲0.27	
京	6,310,075	▲0.01	▲0.27	
川	13,841,665	0.34	▲0.12	
湯	9,212,003	▲0.03	▲0.23	
川	2,163,908	▲1.12	▲1.23	
井	1,028,440	▲0.86	▲1.04	
利	1,117,303	▲0.64	▲0.85	
野	759,777	▲1.01	▲1.09	
岡	812,615	▲0.46	▲0.80	
知	2,043,798	▲0.64	▲0.81	
賀	1,982,294	▲0.72	▲1.02	
都	3,633,773	▲0.67	▲0.92	
阪	7,512,703	▲0.21	▲0.48	
鹿	1,772,427	▲0.70	▲0.97	
良	1,413,989	▲0.09	▲0.34	
山	2,501,269	▲0.41	▲0.81	
良	8,784,421	▲0.19	▲0.48	
岐	5,459,867	▲0.52	▲0.73	
静	1,325,385	▲0.75	▲0.88	
愛	924,469	▲1.14	▲1.23	
三	546,558	▲0.95	▲1.05	
滋	658,809	▲1.13	▲1.17	
京	1,865,478	▲0.73	▲0.87	
大	2,770,623	▲0.65	▲0.84	
兵	1,326,218	▲1.06	▲1.18	
奈	718,879	▲1.08	▲1.21	
和	956,787	▲0.84	▲1.04	
歌	1,327,185	▲1.07	▲1.20	
鳥	684,964	▲1.21	▲1.34	
岡	5,104,921	▲0.07	▲0.32	
媛	806,877	▲0.65	▲0.83	
岡	1,306,060	▲1.06	▲1.23	
賀	1,737,946	▲0.55	▲0.77	
崎	1,123,525	▲0.67	▲1.00	
本	1,068,838	▲0.88	▲1.00	
分	1,591,699	▲0.85	▲0.99	
嶋	1,485,526	▲0.01	▲0.23	
沖	全國計	125,416,877	▲0.41	▲0.65

2023年 住民基本台帳に基づく外国人を含む人口

※増減率は前年比%、▲はマイナス、-1月-10月累計

総人口を都道府県別に見ると、外国人の流入が多い東京だけがプラスとなつた。減少率は秋田の1・65%が最も高く、青森1・41%、岩手1・39%と続いた。日本人は前年、沖縄だ

が戻り、三年ぶりに増えた。

八百三十九人。新型コロナ
ウイルス禍の入国制限緩

人だった。
外国人は約二十八万九千人
人種の二十九十九万三千人

約百五十六万五千人で大幅に上回った。海外転勤、留学などによる減少は約七千

の約七十七万一千人だった
のに対し、死亡数は最多の

外館（本館）二万九千人
つた。名古屋圏（岐阜、愛知、三重）は約四万三千人

ぶりのナラス。日本人が約
七万三千人減となる一方、
外國人が約十一万人増となり

三大都市圏は、東京圏、
玉、千葉、東京、神奈川

は語り合つた。以後で初めて逆縄も減らして転じた。

けがプラスだったが、今回

歳以上は0
15%だった

で、0.18

全体の92・
6%が増。
四歳以下の

兵庫 奈良

減、關西酒